

上映企画

フランス映画を作った女性監督たち——放浪と抵抗の軌跡

VAGABONDES : CINEASTES ET FRANCAISES

Histoire décadrée du cinéma français des pionnières aux nouvelles venues

2022年3月15日（火）－3月27日（日）国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU



『冬の旅』 ©Ciné-Tamaris

国立映画アーカイブでは、3月15日（火）より企画上映「フランス映画を作った女性監督たち——放浪と抵抗の軌跡」を開催いたします（特別協力／上映・企画パートナー：アンスティチュ・フランセ日本、シネマテーク・フランセーズ、特別協力：アンスティチュ・フランセ パリ本部）。映画最初期の監督であるアリス・ギイの『催眠術師の家で』（1898年）から、ソフィー・ルトゥルヌール監督『奥様は妊娠中』（2020年）まで、28作品（14プログラム）で120年以上にわたるフランス女性監督の歴史を辿ります。世界的に女性監督の活躍が注目されている今、改めてフランスにおけるその軌跡をご紹介します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

サイレント映画期から現在活躍中の監督まで幅広く上映！

想像力あふれる物語と演出で、いまなお魅力的なアリス・ギイの作品集（1898年～1907年）や、第二次世界大戦直後の撮影所で活躍した女性監督ジャクリーヌ・オードリーが、女性の同性愛を正面から描いた『オリヴィア』（1951年）、ヌーヴェルヴァーグの先駆となったアニエス・ヴァルダの代表作『冬の旅』（1985）、そして『燃ゆる女の肖像』（2019年）などで知られ、現在最も注目を集める監督のひとりであるセリーヌ・シアマ監督の『ガールフッド』（2014年）など、幅広く上映します。それぞれの時代を牽引したパイオニアや、現在第一線で活躍中の監督の作品をぜひスクリーンでご覧ください。

スターたちの監督作を上映

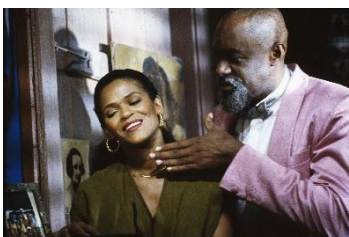
ルイ・フィヤード監督『レ・ヴァンピール 吸血ギャング団』で演じたイルマ・ヴェップ役などで知られ、フランス・サイレント映画期を代表するスターであるミュジドラが監督・主演した『ドン・カルロスのために』（1921年）、『太陽と影』（1922年）を上映します。また、フランソワ・トリュフォー作品など数多くの映画に主演したジャンヌ・モローの監督作『ジャンヌ・モローの思春期』（1979年）を、国立映画アーカイブ所蔵の35mmフィルムで上映。スターとしてのイメージに隠れがちな監督としての魅力を、ぜひスクリーンで（再）発見してください！

音楽にも注目の作品を上映

マリー＝ルイズ・イリブ監督『魔王』（1931年）は、ゲーテの詩をもとにしたシューベルトの歌曲『魔王』の映画化作品。特殊撮影をふんだんにつかった大胆な演出と、魔王に襲われる子どもの名演も必見です。また、『白く濁いた季節』（1989年）でハリウッド・メジャー初の黒人女性監督となったユーザン・パルシー監督が、故郷のフランス領アンティル諸島を舞台に描く音楽ファンタジー映画『シメオン』（1992年）も上映。世界的人気バンドであるKassav'（カッサヴ）のメンバーが俳優として出演し音楽も披露しています！ 貴重な35mmフィルムでの上映です。

サイレント映画の生伴奏付上映やトークも開催

シネマテーク・フランセーズが復元したサイレント映画『スペインの祭』（1919年）と『太陽と影』（1922年）の上映では、湯浅ジョウイチ氏と鈴木真紀子氏による生伴奏付上映も開催。よみがえった作品を、ライブ音楽とともに楽しみください！ また初日の3月15日の「アリス・ギイ作品集」上映後には坂本安美氏（アンスティチュ・フランセ日本映画プログラム主任）のトークも行います。



(左から)『魔王』、『オリヴィア』、『シメオン』 © 1992 Moune Jamet_JMJ International Pictures、『美しき青春』

上映作品 (14プログラム、28作品) 女性監督は黄色で表示しています。

	タイトル	公開年	監督
1	《アリス・ギイ作品集》		
	催眠術師の家で (1898年) / 世紀末の外科医 (1900年) / オペラ通り (1900年) / 全自動の帽子屋兼肉屋 (1900年) / カメラマンの家で (1900年) / フェリックス・マヨル 失礼な質問 (1905年) / マダムの欲望 (1906年) / フェミニズムの結果 (1906年) / キャスター付きベッド (1907年) / ソーセージ競争 (1907年) / ビュット=ショーモン撮影所でフォノセーヌを撮るアリス・ギイ (1907年) / バリケードを挟んで (1907年) / 銀行券 (1907年)		アリス・ギイ
2	ドン・カルロスのために	1921	ミュジドラ、ジャック・ラセーヌ
3	スペインの祭	1919	ジェルメーヌ・デュラック
	太陽と影	1922	ミュジドラ、ジャック・ラセーヌ
4	微笑むブーデ夫人	1923	ジェルメーヌ・デュラック
	魔王	1931	マリー=ルイズ・イリブ、ジャン・マルグリット
5	二重の愛	1925	ジャン・エブシュタイン (脚本のみ: マリー・エブシュタイン)
6	美しき青春	1936	マリー・エブシュタイン、ジャン・ブノワ=レヴィ
7	パリ 1900年	1947	ニコル・ヴェドレス
8	オリヴィア	1951	ジャクリーヌ・オードリー
9	シメオン	1992	ユーザン・バルシー
10	ジャンヌ・モローの思春期	1979	ジャンヌ・モロー
11	冬の旅	1985	アニエス・ヴァルダ
12	グッバイ・ファーストラブ	2011	ミア・ハンセン=ラヴ
13	ガールフッド	2014	セリーヌ・シアマ
14	奥様は妊娠中	2020	ソフィー・ルトウルヌール

開催概要

企画名 フランス映画を作った女性監督たち——放浪と抵抗の軌跡

(仏題) VAGABONDES : CINEASTES ET FRANCAISES

Histoire décadrée du cinéma français des pionnières aux nouvelles venues

主催 国立映画アーカイブ

特別協力/企画・上映パートナー アンスティチュ・フランセ日本、シネマテーク・フランセーズ

特別協力 アンスティチュ・フランセ パリ本部

会期 2022年3月15日 [火] - 27日 [日] 会期中の休館日: 月曜日

会場 国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール O Z U [2階]

HP <https://www.nfaj.go.jp/exhibition/france202202/>

問合せ 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

【前売指定席券】

3月8日(火)以降、毎週火曜日 10:00am より、チケットぴあにて翌週(火~日) 上映回の前売指定席券(全席指定席)を販売します。[Pコード: 551-949]

一般: 520円 / 高校・大学生・65歳以上: 310円 / 小・中学生: 100円 / 障害者(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ・未就学児: 無料

♪生伴奏付上映の回

一般: 1,050円 / 高校・大学生・65歳以上: 840円 / 小・中学生: 600円 / 障害者(付添者は原則1名まで)・未就学児: 無料(*手数料のみがかかります) / キャンパスメンバーズ(教職員): 500円 / キャンパスメンバーズ(学生): 400円

*前売指定席券のみ販売いたします。*会場でのチケットの販売はございません。

*障害者(付添者は原則1名まで)・キャンパスメンバーズの方も、前売指定席券をお求めください。

《本特集に関するお問い合わせ》※一部の作品のステル写真を広報用に貸出します。ご希望の方は下記までお問い合わせください。

国立映画アーカイブ(上映室: 横田・玉田・森宗) MAIL: pr@nfaj.go.jp TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830